

平成26年度 上田市立菅平小・中学校 学校自己評価

| 学校教育目標 | | めざす子どもの姿（中期的目標） | | |
|------------------|---|---|---|--|
| 郷土を拓く 大地の教育 | ①自分で考え、判断し、行動できる子ども ②自分や友達の良さを認め合える子ども ③仲間と協力して課題を解決していこうとする子ども ④自らを鍛える逞しい子ども ⑤郷土に誇りを持ち、郷土を愛する子ども | | | |
| | 今年度の重点目標 | | | |
| | 1 | 自分から進んで学習を進められる児童・生徒の育成をめざす。 | | |
| | 2 | 互いの良さを認め合い、互いの安全に気を配り、前向きに取り組む集団生活をめざす。 | | |
| | 3 | 菅平の産業に学び、郷土に生きる人材を育てる。 | | |
| 領域 | 対象 | 評価項目 | 評価の観点 | |
| 学 校 教 育 | 学習指導 | 小中連携の中で学習内容の系統を意識した児童・生徒の学びの質や深化を図るために個に応じた学習指導のあり方を研究する。 | ① 児童・生徒は、学習に興味を持ち「授業が分かり易い」「興味を持って楽しい・面白い」など、意欲的に学ぼうとしているか。 ② 小・中学校の先生が連携して授業を行っていることで、児童・生徒の学習意欲は高まっているか。 | |
| | | 重点① 各学年の発達に応じた“分かりやすい授業”指導のあり方を研究していく。 | ③ 児童・生徒は、各学年の学習内容を理解して、進級・進学への意欲を高めているか。 ④ 学校の授業（教育活動）は、低学年から高学年、小学校から中学校への連携が取れているか。 | |
| | | 生徒指導 | ⑤ 教師は、授業や学級だよりなどで児童・生徒の良い点、努力している点を積極的に紹介しているか。 ⑥ 児童・生徒は、周囲の人々から頑張りを認めってもらうことで、「自分も頑張ろう」と考えているか。 | |
| | 重点② | 小中それぞれの段階に応じたコミュニケーション能力や、より良い関わり方を身につける。 | ⑦ 児童・生徒は、友達と協力して、進んで学習活動や行事に取り組んでいるか。 | |
| | キャリア教育 重点③ | 地域との交流を通して、この地に生きることの喜びを実感させる。 | ⑧ 地域との交流（体験や作業を含む）は、子どもに菅平の素晴らしさを伝えているか。 ⑨ 児童・生徒は、菅平についての学習や栽培・体験活動などを通して、地域に育つ喜びを感じているか。 | |
| | 学 校 運 営 | 学校作りへの参加 | 教育課題を明らかにして学校作りに参加する職員。 | ⑩ 先生は、児童・生徒の様子に目を配り、一人ひとりの目標や課題について支援しているか。 |
| | | | 菅平小・中学校の教育を考える保護者。 | ⑪ 保護者は、児童・生徒のがんばりを認めているか。（授業参観や懇談会、スキー活動、家庭学習、お手伝い等を通して） |
| | | | 協力し合えるPTA。 | ⑫ 保護者と学校は、児童・生徒について困ったことや気になることを相談しあっているか。 |
| | その他 | 楽しい学校生活 | ⑬ 児童・生徒は、毎日楽しそうに学校へ通っているか。 | |